

新たな防災気象情報を確認しよう！



変更点の主なポイントはこの2つ

- ①防災気象情報の名称に「レベル」の数字をつけて発表します。
- ②全員避難の目安となるレベル4の情報を、「危険警報」として発表します。

<主な変更例>

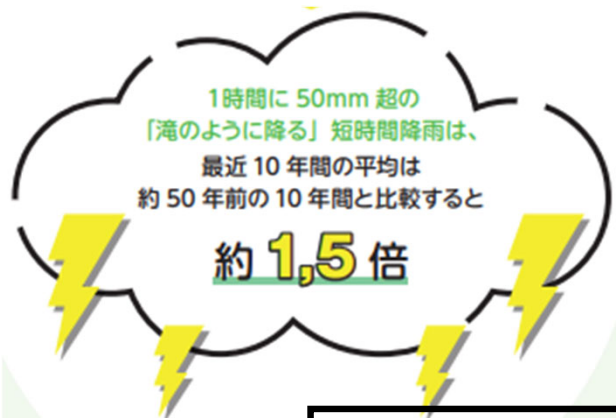
旧)土砂災害警戒情報
新)レベル4土砂災害危険警報 (横浜市南部)

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

避難するのはこのタイミングまでに！！

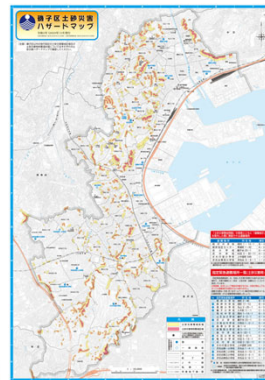
自宅周辺の危険性を把握しよう！

近年は、短時間に強い雨が増えてます

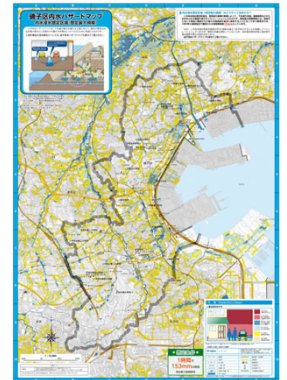


磯子区 防災地図 検索

土砂災害・浸水(洪水、内水、高潮)の危険性を防災の地図(ハザードマップ)で把握しましょう。



土砂災害ハザードマップ



浸水ハザードマップ (洪水、内水、高潮)

避難行動を理解しよう！！

避難情報を参考に、危険が迫る前に早めに避難しましょう！

災害発生	レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する
2時間～0時間前	レベル4 危険警報	・危険な場所から全員避難する ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
数時間～3時間前	レベル3 警報	・避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難
半日～数時間前	レベル2 注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
数日～1日前	レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを一段高める

災害に応じた避難行動を確認

<p>がけなどが崩れる 土砂災害</p> <p>〈がけ地の場合〉 「水平避難」</p> <p>がけ地の中でもリスクの高い「土砂災害警戒区域」からは、避難指示が出たら、区域の外へ「水平避難」してください。</p>	<p>マンホールなどから水があふれ出す 内水氾濫</p> <p>〈内水の場合〉 「垂直避難」</p> <p>内水浸水からは、浸水想定よりも高い部屋へ「垂直避難」！ 1階の住居などでは、高い部屋がないときは、区域の外へ「水平避難」をしてください。</p>
--	---

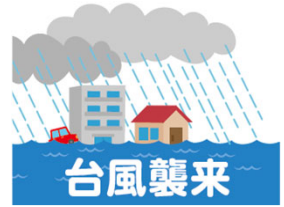
横浜市防災情報ポータルでは、現在の気象状況から避難所の開設情報まで、必要な防災情報を簡単に確認できます。



土砂災害は特に危険です！
※危険が差し迫った「土砂災害警戒区域」には避難指示がかかります！

風水害時のとるべき行動を確認してみよう！

大雨・台風などのおそれ



台風襲来



事前にハザードマップ等で確認が大切！

自宅が土砂災害警戒区域や浸水想定区域にありますか？ ※①

いいえ

はい



自宅
(屋内待機)

レベル3
氾濫警報

レベル3
大雨警報

レベル3
土砂災害警報

レベル3
高潮警報

発表された！！

✕
磯子区は該当しません
(鶴見川のみ)

・レベル4に備えて避難の準備をしてください。
・避難に時間がかかる方は避難を始めてください。

レベル4 ※②
大雨危険警報

レベル4
土砂災害危険警報

レベル4
高潮危険警報

避難指示発表された！！

浸水想定区域の方

土砂災害警戒区域の方

はい

はい

建物が2階建て以上
もしくはマンション居住ですか？

はい

いいえ



垂直避難

垂直避難

頑丈な建物の
2階以上に避難する

避難行動



水平避難

水平避難

水平避難

安全な場所に避難する
(その場所から移動する)

※①浸水想定区域外や土砂災害警戒区域外でも、がけ崩れや浸水等が起こる危険性があります。十分注意しましょう！

※②大雨危険警報が出たら大岡川・堀割川の河川氾濫もしくは道路が冠水する内水氾濫に気を付けましょう！